



# 自分たちの手で「地域の安心の暮らし」を支える

～住民による支え合い活動を推進する～  
南三陸町社会福祉協議会

様々な社会変容を背景に、地域の生活課題、個人の福祉ニーズは多様化・複雑化し、身近な地域での支え合いの大切さが改めて見直されています。今号では、地域での助け合い活動の推進を目指し、地域住民のボランティア登録制度「ほっとバンク」を開始した南三陸町社会福祉協議会（以下「社協」）の取り組みを紹介します。

## ●地域の温かい支え合い

東日本大震災で甚大な被害を受けた南三陸町では多くの「人」「財産」「つながり」「地域力」が失われ、震災直後より全国から多くの支援を頂き復旧・復興に向け進んできました。震災関連の支援も徐々に減少することが予測され、仮設住宅、災害公営住宅、集団移転先などで、人とのつながりを紡ぎ新しい地域をつくりていくことが今後益々大切になります。南三陸町社協では、地域で誰もが安心して暮らせるよう、住民同士で見守り支え合う仕組みの構築を目指して、今年度より登録ボランティア制度「ほっとバンク」を開始しました。登録者は日常の見守り活動や話し相手などの他、地域ごとに分かれて福祉施設や社協などのイベントで活動しています。

## ●「ちょっと」からの広がり

「今度は、まちのために自分たちの力を活かしたい」震災から4年が経過し益々高まっている住民の思いは、ほっとバンクに活かされています。登録者には認定証と名札が交付され、個人の状況に応じた活動します。名札があることの安心感やマッチングという仕組みがあることによって一人では出来なかったことも活動の機会が得られるなど、活動の幅が広がりました。やる気さえあれば誰でも出来るちょっとしたお手伝いとして、自分が出来る時間、範囲で無理せずに参加してもらおうというのを重視している人は、どの地域にもいます。だからこそほっとバンクをきっかけとして「何かしたい」という住民の思いの輪が少しずつ広がることを目指しています。

## キラリ★ 仕事人



今号では、社会福祉法人 光の子児童福祉会 第一光の子保育園で保育士として働く、横山優希さんにお話を伺いました。

このコーナーでは福祉の職場で働くキラリ☆と光る人をご紹介します

### 現在の職業に就いたきっかけは何ですか。

小学生の頃にいとこに子どもが生まれ、面倒を見るのが好きでした。高校3年生になり進路を考えた時にその頃のことを思い出して、子どもに関わる仕事がしたいと思い保育士を目指しました。

### 「どんなところにやりがいを感じますか。」

子どもの成長を感じた時です。今2歳の児の担任をさせて頂いているのですが、パントレーニング中の子が、自ら尿意を伝えてくれるなどの成長を見られた際には本当に嬉しく、やりがいを覚えます。また、第一光の子保育園では、園庭に様々な果樹を植えたり、薪にする前の丸太などを遊具にしたり、子どもたちの健やかな成長につながるよう工夫しています。自然に囲まれた環境を生かし、季節を感じながら

### 大変だと感じるところはどんなところですか。

集団の中で、個性豊かな子どもたち一人ひとりに合った保育をすることに大変さを感じます。同じ年齢・クラスでも一人ひとり発達速度も性格も異なるため、個人差に合わせた保育は必要不可欠です。どの様な場面でも一人ひとりの個性に合わせ、気持ちを大切にされた保育を心がけています。

### 心がけていることはありますか。

心がけている事は2つあります。1つ目は子どもたちの気持ちを出るだけ汲み取る事です。保育士に自分の気持ちを汲み取ってもらおう事で、信頼感を持ち、安心して園生活を送ることが出来る、のびのびと成長していけるのです。もう1つは基本的な事ですが、出来た事をたくさん褒めることです。大人も子どもも褒められると嬉しいものですし、よりやる気も湧いてくると思います。

### 同じような職場で働きたいと思っっている方へ一言！

保育士が子どもに与える影響は大きいと思います。例えば「焼き芋」をする、という活動でも保育士が活動前の導入や内容・準備に少し工夫をするだけで子どもの反応は変わります。自分が工夫した分子どもの笑顔も増え、元気がもらえる仕事だと思えます。男女問わず、もっとたくさんの人に保育士を目指してほしいと思います。



▲見守りの様子。ちょっとした見回りで満開の笑顔をお届け

## ●助け合いは心を育む元気の源

「ほっとバンクは活動している人の心も温かく豊かにする『心の貯金事業』だと思っています。」と話してくれたのは南三陸町社協 高橋史佳地域福祉係長。ちょっとした日常の手助けはそこに住む人の安心につながるだけでなく、様々な経験や人とのふれ合いを通して活動者自身のやりがいやパワーに繋がっています。そうした経験の積み重ねを通じて地域の福祉力が蓄積され、地域住民が元氣、なまちとなることが期待されます。

## ●これまでのたくさんの支援を糧に

「地元が頑張っている姿を見せること、復興しながら支え合いのまちづくりを進めることでこれまで世界中から頂いた多くの支援への恩返しにしたい」とお話ししてくれたのは猪又隆弘事務局長。始まったばかりのほっとバンクの活動メニューはまだ少ないですが、住民同士が支え合う地域づくり

を大切に、地域の困りごとや住民の出来ることに合わせて様々な形の支援の構築を目指しています。「何かやりたい」という住民の思いを、「助け合い活動への参加」という形にすることで、支え合いのまちづくりを進める南三陸町社協の今後の展開が楽しみです。



▲イベントもちょっとした手助け。「手伝いさ来たよ～」

南三陸町  
社会福祉協議会  
人口 13,874人  
(平成27年10月現在)  
社協データ  
職員数 90人



サロン活動や世代間交流などを通じたコミュニティ形成支援、被災者生活支援の他、地域で生活する方々の生活を支える通所・居宅介護等の介護保険事業なども展開しています。

平成27年度 社会福祉施設 総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます  
ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の  
**事故・紛争円満解決のために！**

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

補償金額		年額保険料(掛金)	
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	定員	基本補償(A型)
対物賠償(1事故)	2,000万円	1~50名	35,000~61,460円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	51~100名	68,270~97,000円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	以降1名~10名増ごと	1,500円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	基本補償(A型) +	
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	【見舞費用加算】	
初期対応費用(期間中)	500万円	定員1名あたり	
死亡10万円	死亡10万円	入所: 1,300円	
後遺障害0.3~10万円	後遺障害0.3~10万円	通所: 1,390円	
入院時3万円	入院時3万円		
通院時1万円	通院時1万円		
(1事故で10万円限度)	(1事故で10万円限度)		
事故初期見舞費用(1名につき)	死亡時100万円		
	入院時1.5~7万円		
	通院時1~3.5万円		
利用者傷害事故見舞費用			

プラン2 施設利用者の補償  
プラン3 施設職員の補償

スケールメリットを活かし、有利な補償と割安な保険料です。

このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記をお願いします。

団体 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
契約者 損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
TEL:03(3593)6824

取扱 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

代理店

(SJK14-16361 2015.2.10 作成)

# INFORMATION

情報掲示板

## 福祉施策及び東日本大震災に係る復興支援等に対する要望書の回答を頂きました

平成27年8月21日、宮城県保健福祉部社会福祉課に提出した、国及び宮城県に対する要望書の回答が平成27年10月15日に届きました。

届いた回答は、宮城県社会福祉協議会ホームページでご覧になれます。

## 温かい真心をありがとうございます

下記の方々から、本会に寄付金をいただきました。温かい真心に感謝申し上げます。

(平成27年11月現在)

平成27年10月9日 株式会社ブリッジさまより  
社会福祉事業のために…………… 54,593円

平成27年11月10日 株式会社ブリッジさまより  
社会福祉事業のために…………… 62,386円

### <関東・東北豪雨災害に関する支援金>

平成27年10月15日 社会福祉法人  
兵庫県社会福祉協議会さまより… 200,000円

平成27年11月12日 全国社会福祉協議会  
地域福祉推進委員会さまより… 300,000円

平成27年11月17日  
邑楽町ボランティアグループさまより  
…………… 100,000円

## 宮城いきいき学園 平成28年4月入学生募集

- ・対象=県内居住の概ね60歳以上の方
- ・場所=①仙南校 ②大崎校 ③石巻校  
④気仙沼・本吉校 ⑤登米・栗原校
- ・募集人員=各校40人
- ・学習日=年間22回(2学年制)
- ・内容=生きがいと健康づくりをめざし、地域活動の指導者として役立つ内容を身につけます。
- ・募集期間=平成27年12月1日(火)～  
平成28年2月29日(月)必着
- ・入学金=5,000円
- ・受講料=年間20,000円
- ・申込書は、各市町村の福祉担当課や生涯学習担当課及び  
本会ホームページからも入手できます。
- ・通学可能であれば、どちらの学校に申し込んでも結構です。
- ・HP[<http://www.miyagi-sfk.net/>]
- ・申し込みお問い合わせ  
宮城県社会福祉協議会いきがい健康課  
☎022(225)8477

## 宮城いきいき シニアだより

県内にお住まいの  
元気シニアを紹介いたします！

今年11月、県社協が開催した「第23回宮城シニア美術展」工芸部門に出品した相馬輝義さん(栗原市金成在住・82歳)にお話を伺いました。

相馬さんが宮城シニア美術展に出品するきっかけになったのは、平成24年に宮城県で開催された「ねんりんピック宮城・仙台2012」関連イベントである地域文化伝承館において金成陶芸愛好会が展示実演していたブースに、ねんりんピック美術展に栃木県から出品した人が来場し、相馬さんの作品の出来栄をみてシニア美術展への出品を勧められたことです。それで初めてシニア美術展を知り、翌年の平成25年から宮城シニア美術展に出品し始め、初年度は最優秀賞、翌年度は優秀賞を受賞しました。

旧金成地区では平成元年から19年まで公民館事業として陶芸講座が開かれていましたが、合併後の平成20年に相馬さんなど受講生達で「金成陶芸愛好会」を



設立し、自主運営しています。現在13名が2班体制で毎月連続5日間制作活動を行っており、会員の平均年齢はおおよそ70歳で、相馬さんが最高齢者です。

相馬さんは講座開設2年目となる平成2年から受講し始めました。陶芸は全くの素人でしたが、もともと絵が好きだったので九谷焼のような絵付けを勉強できると思い習い始めました。

会には定まった指導者はおらず、会員同士で勉強し合いながら生活雑器作りを楽しんでいます。

会の地域活動として、毎年幼稚園児に制作指導を行っています。

会では会員の高齢化が進んで後継者の育成が課題になっていますが、会員募集をしても毎月5日間連続で制作活動に取り組まなければならないことから応募者はあまりいません。

相馬さんは、「高齢になると手が震えて細かい作業が難しくなる。それで、色の異なる粘土を練り合わせて模様を作る練り込みに挑戦するようになった。」と語っていました。

シニア美術展にどれを出品したらいいか迷うことも多く、そのときは会員の方の意見も参考に出品しています。

また、宮城シニア美術展に対しては、「出展料が安くて気軽に出席できるのに工芸の出展数が少ない。もっと多くの人に出品して欲しい。」と笑顔で話してくださいました。

設置し、自主運営しています。現在13名が2班体制で毎月連続5日間制作活動を行っており、会員の平均年齢はおおよそ70歳で、相馬さんが最高齢者です。

相馬さんは講座開設2年目となる平成2年から受講し始めました。陶芸は全くの素人でしたが、もともと絵が好きだったので九谷焼のような絵付けを勉強できると思い習い始めました。

会には定まった指導者はおらず、会員同士で勉強し合いながら生活雑器作りを楽しんでいます。

会の地域活動として、毎年幼稚園児に制作指導を行っています。

会では会員の高齢化が進んで後継者の育成が課題になっていますが、会員募集をしても毎月5日間連続で制作活動に取り組まなければならないことから応募者はあまりいません。

相馬さんは、「高齢になると手が震えて細かい作業が難しくなる。それで、色の異なる粘土を練り合わせて模様を作る練り込みに挑戦するようになった。」と語っていました。

シニア美術展にどれを出品したらいいか迷うことも多く、そのときは会員の方の意見も参考に出品しています。

また、宮城シニア美術展に対しては、「出展料が安くて気軽に出席できるのに工芸の出展数が少ない。もっと多くの人に出品して欲しい。」と笑顔で話してくださいました。

## オススメ製品の紹介

NPO法人みやぎセルフ協働受注センターでは、働く障害者の方々に応援しています！  
URL <http://www.miyagi-selp.org>  
f <http://www.facebook.com/miyagiselp>

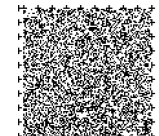
県内の障害者就労支援事業所で作るオススメの製品を紹介します。

### ◆ワサビ小女子佃煮

仙台駅で販売された「東北復興弁当」第4弾(2014年10月～2015年9月)で人気を博したメニューが、当栽培園のワサビ浅漬けと木の屋石巻水産様の小女子の和え物です。人気にお応えして商品化しました。海の幸、山の幸のコラボにより、復興を願う商品です。小女子の甘辛さにワサビのシャキシャキ感がマッチします。やくらい土産センター、葉菜わさび茶屋などでご購入下さい。



株式会社葉菜山葵栽培園  
〒981-4375 宮城県加美郡加美町字味ヶ袋新坂1番  
TEL/0229-67-5108 FAX/0229-67-5109  
✉ wasabi@ykri.jp ホームページ: <http://ykri.jp>



## 相談 Q&A

○みやぎ地域福祉サポートセンター(愛称:「まもりーぶ」)では、日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)を宮城県内(仙台市内を除く)で行っています。

**Q** 事業内容について教えてください。  
**A** 認知症の方や障害(知的・精神)のある方(「判断能力が不十分な方」)を対象に、福祉サービスの利用援助サービス・日常的金融管理サービスなどを行い、地域の中で安心した生活が送れるよう、市町村社会福祉協議会・県社協が実施しています。

**Q** 具体的な支援はどういったものですか？  
**A** 支援計画に基づき、生活支援員が自宅などを定期訪問し、福祉サービスの利用が適切に図られるよう相談・助言・見守りを行います。また、日常的な範囲で、必要な預貯金の出入金や支払いなどを行います。

**Q** 利用に関する相談窓口はどこですか？  
**A** 圏域のサポートセンターが行っています。(電話番号)

**Q** 法律行為が伴う場合は、成年後見制度をご案内しています。  
**A** 利用の手続きや利用料金については、窓口にお問い合わせください。



今号ではまもりーぶでよくあるご質問について紹介します。

